長門湯本 2017年度社会実験 長門湯本みらいプロジェクトについて

社会実験概要

長門湯本温泉観光まちづくり計画にもとづき進行中の温泉街のリノベーションにあたり、これからの民間事業者の事業機会をつくり出し、整備後に生まれる公共空間の活用や交通計画の再編、温泉地の景観を向上させる照明や建物の開き方など、エリアの魅力アップに寄与する取り組みを現時点から段階的に実施し、将来像と課題を地域内外で共有するとともに、よりよい地域経営にむけた検証・改善を行うことを目的とします。

【実施体制】

◆主催：湯本温泉街みらい検討会議
◆共催：長門市
◆運営協力：有限会社ハートビートプラン

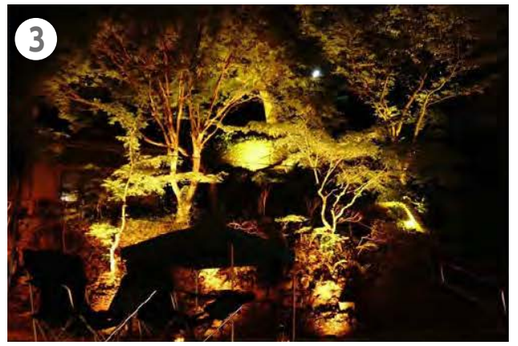
社会実験実施スケジュール

河川空間活用
川床 9/16(土)～10/9(月)

交通再編 道路・空地 空間活用
空地活用 9/16(土)～18(祝)
一方通行+活用 9/16(土)～27(水)
空地活用 10/7(土)～9(祝)
相互通行+活用 9/28(木)～10/9(月)

照明改善
提灯設置完了 ～9/14(木)
照明 9/16(土)～10/9(月)
10/10(火)以降 設置継続も可

試行イメージ



検証項目

1. 観光資源としての河川活用促進のための川床の設置・運営の検証
2. そぞろ歩きをしやすくする人中心の交通機能再編に伴う影響の検証
3. 官民連携した照明計画による温泉地景観の向上の検証
4. 空地活用事業の検証

検証(調査)方法

1. プレイス（滞留行動）調査：アクティビティの検証
2. 交通調査：交通ルールや駐車場の検証
3. 来場者アンケート：アクティビティ・質・照明効果の検証
4. 実施者アンケート：川床運営・公共空間活用・照明効果の検証
5. 地域アンケート：社会実験全体の検証

エリアの魅力向上のための試行

河川空間の活用 試行イメージ ① ③
＋
交通再編による道路・空地空間活用 試行イメージ ①
＋
照明改善 試行イメージ ② ④

河川空間活用

◆２種類の川床を事務局側で設置しそれを各事業者で活用して頂く公募事業です。

① 河川敷での川床運営

河川敷に設置された３ｍ×３ｍ程度の川床を活用する実験です。

② 道路レベルでの置き座の設置

道路から突き出す形で設置された６ｍ×５ｍ程度の置き座を活用する実験です。

照明改善

◆温泉街の公共及び民間の照明の色などを変更し、夜にそぞろ歩きをしたくなる雰囲気を検証する社会実験です。

① 川床を演出する灯り

設置された川床を演出するための灯りを設置します。

・ソーラー行灯、掛け提灯、手提げ提灯（移動式）
・ハイポールスポットライト等外側から（公共）
・水中照明等河川内設置（常設）

② 公共エリアの改善

道路や橋などの公共空間の照明の改善を行います。

・重要な公共景観資源のライトアップ（千代橋、せせらぎ橋、アーチ等）
・足湯からのビューの探索（街路樹ライトアップ、石垣演出等）

③ みんなでつくる灯り

軒先に共通の照明を設置するなど、住民や商店側で協力して灯りの演出を行います。

・軒先への「長門提灯」の設置（共通のデザインなど検討）
・旅館や店舗などの照明改修、色温度改善
・住吉神社への照明設置（参道・境内）

湯本・門前・三ノ瀬の３つの地区とそこを流れる音信川をイメージしたデザインの提灯です。

交通再編道路・空地の空間活用

◆一方通行化もしくは人の空間化された空間や温泉街の空地などを使ってプログラムを実施する公募事業です。

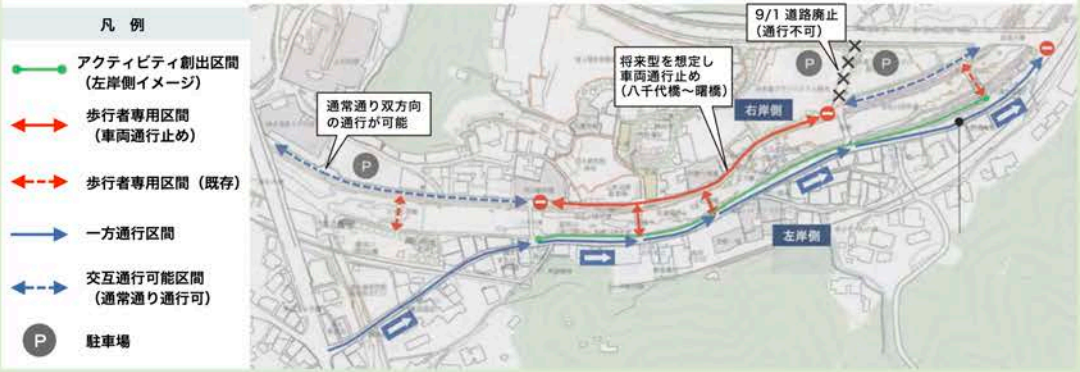
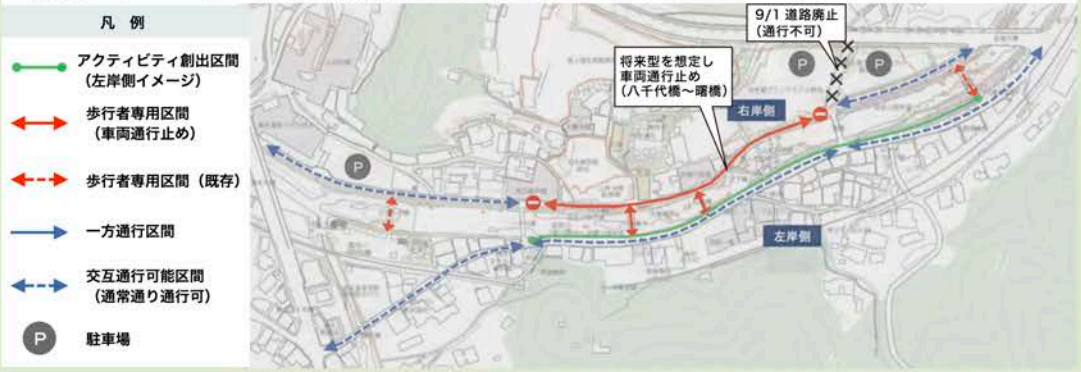
① 居心地エリアの設置

テーブルセットや植栽などを設置し、川沿いに居心地をの良い空間をつくる実験です

② 店舗エリアの設置

飲食やクラフト、体験教室などの店舗が出店し、まちの賑わいをつくる実験です。

交通パターンＡ：道路活用＋一方通行　9/16（土）～9/27（水）までの12日間（終日）



交通パターンＢ：道路活用＋対面通行　9/28（木）～10/9（月）までの12日間（終日）